

施 装 策 檢 檢 証 シ ー ト
地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時代のニーズにあつた切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちをめざします。

○結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなんまる
○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。
○出産に向けた男女の出会いの場の負担の軽減などを通じて、ワーカー・ライフ・バランスの実現を図ります。
○子育てのサポート等、現状のサークル等、児童・青少年の取組促進や多様な働き方の醸成などを図ります。
○育児介護の取組促進や多様な働き方の醸成などを図ります。

施策内容
施策No. 1 施策 跡選 出会いの場の創出

・男女の出会いの場を提供することでもに、カップルになるためのセミナーなどを開催し、独身男女の結婚に向けた支援を行います。

①重要業績評価指標 (KPI)

指標名	目標値 (H26) 担当部署	内部検証			外部検証 結果 コメント
		取り組み状況	今後の取り組み	検証	
カップル成立数 17組	企画課 自県	実績 過去年 過去年 自然 達成率 達成率	男女の出会いの場として、婚活イベントを開催しました。(2回) 婚活セミナー、婚活コンペティション、婚活団体(2団体、3地区)が主催する婚活イベントに対して支援を行いました。 ② ビジネス目的として、会員登録数およびチラシの配布を行いました。	・引き続き、男女の出会いの場の提供を図ります。また、独身男女の新たな出会いにつながるよう、ひ地位異性・他市町との連携を深め、出会いの場づくりをすすめます。 ③	・出会いの場の創出にどこどもらず、独身男女が希望をもつて自分を磨くことができる、住民の多様ニーズに即して婚活事業を創出してください。 ・地域住民の出会いの場づくりを支援して、地域における結婚への気運を高めてください。
施設 -	-	-	《実施していること》 ・周辺市町など連携することができました。 ・昨年度に引き続き、婚活イベントを開催した がために、今年度は、婚活セミナーを行いました。 ④ 《実施していること》 ・基本的方 基本をとける 状況 ・実施できるところに限り組みが多様化する中で、 ・県や市町の連絡会議を一本化し、地頭における組 ・出会いの場を深め、情報収集を図る仕組みが 必要です。	・基本目標、基本的方向 ・地域による地域のつながりの中 で、結婚に向けた支援ができるよう、地域 において連絡会議に おける支援をしてしまうよう、また、町において連絡会議に 取り組みます。 ⑤ 《今後の課題》 ・結婚支援の取り組みが多様化する中で、 ・県や市町の連絡会議を一本化し、地頭における 組合への機運醸成を図る仕組みが 必要です。	A
H29 60 組(件) 計	88 期(件) 計	146.7%	4 H30 80 組(件) 計		
H31 100 組(件) 計			9 目標値 (H31) 100 組(件) 組(件) 計	88.0%	

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる
基本的方向	○結婚に向けた男女の出会いの場や出産の負担による負担の軽減などを図ります。 ○出産に向けたの負担の軽減により、地域の資源を最大限に活用します。 ○出産への充実を通じて、子ども・子育て支援を行います。

施業内容	施業のつがりを深める中で、結婚から子育てまで、その時代のニーズにあつた切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望を持てるまちをめざします。			
	施業No.	施業名	期間	達成度
•安心して出産ができるように、妊娠の健康の充実と経済的負担の軽減を図ります。 •不妊治療を受けている夫婦に対して治療費の一部を補助することによる経済的支援を行います。				
		産み育てやすい環境の充実		
指標名	重要業績評価指標 (KPI)	内部検証	外部検証	
指標目標	妊娠健診受診回数（人あたり）	①妊娠健診回数	⑥検証	コメント
目標額 （H29）	127 回			
担当部署 目標	産科保健課 自課	達成率 基底値		
指標名	重要業績評価指標 (KPI)	内部検証	外部検証	
指標目標	「今後の取り組み」	② 【取り組み状況】	③ 【今後の取り組み】	④ コメント
目標額 （H29）	妊娠健診の費用助成を行わないました。また、不妊治療費の一部助成を行ないました。新たにマタニティサロンお父さん教室として、お母さんお父さん教室及びマタニティサロンの内容を修正する。	妊娠健診の費用助成を行ないました。また、不妊治療費の一部助成を行ないました。新たにマタニティサロンお父さんお父さん教室として、お母さんお父さん教室をつくりました。	妊娠健診の費用助成を行ないました。また、不妊治療費の一部助成を行ないました。新たにマタニティサロンお父さんお父さん教室として、お母さんお父さん教室をつくりました。	・結婚から子育てまでの、若い世代のいる家庭を図ります。・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。
担当部署 目標	産科保健課 基底値	達成率 基底値	基底値	
指標名	重要業績評価指標 (KPI)	内部検証	外部検証	
指標目標	「今後の取り組み」	② 【取り組み状況】	③ 【今後の取り組み】	④ コメント
目標額 （H29）	妊娠健診回数 98.0%	達成率 92.6%	妊娠健診回数 98.0%	A ・妊娠期から出産までの、若い世代のいる家庭を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。
担当部署 目標	産科保健課 自課	達成率 基底値	基底値	
指標名	重要業績評価指標 (KPI)	内部検証	外部検証	
指標目標	「今後の取り組み」	② 【取り組み状況】	③ 【今後の取り組み】	④ コメント
目標額 （H30）	妊娠健診回数 98.0%	達成率 13.0%	妊娠健診回数 98.0%	・妊娠期から出産までの、若い世代のいる家庭を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。
担当部署 目標	産科保健課 自課	達成率 基底値	基底値	
指標名	重要業績評価指標 (KPI)	内部検証	外部検証	
指標目標	「今後の取り組み」	② 【取り組み状況】	③ 【今後の取り組み】	④ コメント
目標額 （H31）	妊娠健診回数 90.3%	達成率 14.0%	妊娠健診回数 90.3%	・妊娠期から出産までの、若い世代のいる家庭を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。 ・妊娠期から出産後にかけての経済的負担の軽減を図ります。
担当部署 目標	産科保健課 自課	達成率 基底値	基底値	

日野細くらしま心ひとづくり総合院
施 診 病 檢 證 基 ト
地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時点のニーズにあつた切れ目のない支援を行ひ、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちをめざします。

基本目標	3	地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時点のニーズにあつた切れ目のない支援を行ひ、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちをめざします。
施設内密	3	・乳幼児健診における保健指導の充実
施設外密	3	・乳幼児健診の受診を通じて、出産後の母子のサポートを図ります。
指標名	①重要業績評価指標 (KPI)	内部検証
基準値 (H26) 担当部署	98 % 保健室健康課 自課	【取り組み状況】 ① 乳幼児健診の機会を通じて子育ての相談に引き続き、乳幼児健診等の機会を通じて、安心して子育てができるよう支援していきます。 ② 乳幼児健診の機会を通じて子育ての相談に取り組みました。 ③ 乳幼児健診の機会を通じて子育ての相談に取り組みました。 ④ 乳幼児健診としての虫歯予防対策が実施していること。 ⑤ すべての乳幼児を対象とした乳幼児健診(4ヶ月～3歳半検診)の機会を通して、虫歯予防対策等の知識が大層に増えている等の虫歯予防対策が実施されています。 ⑥ 基本目標達成度 基本的方 向を踏ま えての状 況
H26	98.0 %	100.7 % ① 乳幼児健診の機会を通じて子育ての相談に引き続き、乳幼児健診等の機会を通じて、安心して子育てができるよう支援していきます。 ② 乳幼児健診の機会を通じて子育ての相談に取り組みました。 ③ 乳幼児健診の機会を通じて子育ての相談に取り組みました。 ④ 乳幼児健診としての虫歯予防対策が実施していること。 ⑤ すべての乳幼児を対象とした乳幼児健診(4ヶ月～3歳半検診)の機会を通して、虫歯予防対策等の知識が大層に増えている等の虫歯予防対策が実施されています。 ⑥ 基本目標達成度 基本的方 向を踏ま えての状 況
H30	99.0 %	
H31	100.0 %	
最終 (H31)	100.0 %	98.7 % ① 乳幼児健診の機会を通じて子育ての相談に引き続き、乳幼児健診等の機会を通じて、安心して子育てができるよう支援していきます。 ② 乳幼児健診の機会を通じて子育ての相談に取り組みました。 ③ 乳幼児健診の機会を通じて子育ての相談に取り組みました。 ④ 乳幼児健診としての虫歯予防対策が実施していること。 ⑤ すべての乳幼児を対象とした乳幼児健診(4ヶ月～3歳半検診)の機会を通して、虫歯予防対策等の知識が大層に増えている等の虫歯予防対策が実施されています。 ⑥ 基本目標達成度 基本的方 向を踏ま えての状 況

B

・「親への切れ目のない支援」など、どのように運営部局ごとに連携をはかりながら、今一度考えて下さい。
・親の子育てに関する知識不足に対する対応を進められたため、保健師の力量を高めつつ、保健師のサポート体制を強化してください。
・専門性あらじめは、日々の闇わりの中からおられます。と子の時代の中でも、親的確に相談できるように工夫してください。
・・・

基本目標	3	地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時代のニーズにあつた切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望を持てるまちをめざします。																			
基本目標	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	〇結婚に向けた男女の出会いの際の食出を図ります。 〇出産に向けての食事の種類により支援の充実を図ります。 〇子育てサポートセンター等のサービスの普及などを通じて、子ども・子育て支援を図ります。																			
基本的方針	〇育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。																				
施策No.	4	施策内容 ・子育て環境の向上を図るため、保健所の整備																			
指標名	①重要業績評価指標 (KPI)																				
基軸値	(H26)																				
担当部署	子ども支援課																				
指標名	待機児童解消のための保育所の体制整備																				
基軸値	(H26)																				
指標名	②保育所の取組状況																				
基軸値	(H26)																				
指標名	③保育所の取組状況																				
基軸値	(H26)																				
指標名	④保育所の取組状況																				
基軸値	(H26)																				
指標名	⑤保育所の取組状況																				
基軸値	(H26)																				
指標名	⑥検証結果																				
基軸値	(H26)																				
指標名	⑦今後の取り組み																				
基軸値	(H26)																				
指標名	⑧コメント																				
基軸値	(H26)																				

日暮御くらし安心ひとづくり総合財團 地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々のニーズにあつた切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちをめざします。

基本目標 結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかねえる
 ○結婚に向けた男女の出会いの場の創出をめざします。
 ○出産に向けた男女の食事の軽減により支援の充実をめざします。
 ○子育てサポート等、現状のサービスの充実や子育てを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。

施設内容 • 気軽に娘子が集まる場の提供や支援者の育成に努め、保護者がより子育てサロン間の密接な情報交換を図ります。

① 集団子育て支援拠点の利用者数

施設名	地域子育て支援拠点の利用者数
H29	9,373人

内部検証

施設名	取り組み状況	[今後の取り組み]			外部検証 結果
		内訳	検証	コメント	
H29	地域の子育て支援情報の収集、提供に努め、子育て全般に關する専門的な支援を行う拠点(日野町地域子育てセンター)として機能する。また、子育てのスケジュールワークや子育て相談しながら地域活動を行なう団体等と連携します。地域支援各拠点は難しく専用部屋で構成されています。	引き続き地域の子育て支援情報の収集、提供に努め、子育て全般に關する専門的な支援を行なう拠点(日野町地域子育てセンター)として機能する。また、子育てのスケジュールワークや子育て相談しながら地域活動を行なう団体等と連携します。地域支援各拠点は難しく専用部屋で構成されています。	③	今後の利用者が懇意な支援点をもちあわせ、支援者が懇意な支援点をもちあわせ下さい。	B
H30	《実施していること》 •児童交際施設等を開設し子育て世帯の悩みを直接受けた支援を実現しています。	《実施できていないこと》 •父親の参画を促進するためのさらなる充実をめざします。	⑤	④・土・日曜日の開設には、ぼけっこについて現在のところ3日の開設ではなく週末の開設が望まれています。設立当初より、新しい施設は住宅地での開設が望まれます。新しい施設は住宅地での開設が望まれます。	
H31	基本目標を踏まえた状況	《実施できていないこと》 •父親の参画を促進するためのさらなる充実をめざします。		④・土・日曜日の開設には、ぼけっこについて現在のところ3日の開設が望まれています。設立当初より、新しい施設は住宅地での開設が望まれます。	
目標値 (H31)	11,000人	10,348人	94.1%		

基本目標		施策内容		施策内容・子ども・子育て支援新制度に基づく子育て支援員研修を開催し、支援の担い手となる子育て支援員の養成を図ります。		地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちをめざします。	
施策名	達成目標	施策名	達成目標	内閣府証	外閣府証	⑥承認結果	コメント
結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる ○結婚に向けた男女の出産の創出により支援の充実を図ります。 ○出産に対する負担の軽減などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。 ○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを図ります。	6人	子育て支援員の確保	6人	B	B	4	・地域どこのつながりを深めることで多くの支援員への参加の促進を図るべく、これまで多様な支援員を提供してきたところの組みます。 ・子育て支援員としての資質を確保するためには、一時的に支援員から離れている人へ復帰への働きかけを行ないます。 ・地域どこのつながりを深めることで多くの支援員への参加の促進を図るべく、これまで多様な支援員を提供してきたところの組みます。 ・子育て支援員としての資質を確保するためには、一時的に支援員から離れている人へ復帰への働きかけを行ないます。 ・地域どこのつながりを深めることで多くの支援員への参加の促進を図るべく、これまで多様な支援員を提供してきたところの組みます。 ・子育て支援員としての資質を確保するためには、一時的に支援員から離れている人へ復帰への働きかけを行ないます。
①重要業績評価指標 (KPI)		【取り組み状況】	【今後の取り組み】				
指導名 (H25) 担当部署 指導者 自体 子ども支援課	子育て支援員の人数 0人	指導名 指導者 自体 子ども支援課	子育て支援員の人数 0人	内閣府証	外閣府証	⑥承認結果	コメント
施策	リ親養育・家庭的保育・アミリーナボートセントター・放課後児童クラブ・地域子育て支援拠点等の事業支援の実績等による人材を確保しました。 ・学年レーベル等多様な機会を通じて支援員養成研修の開催を行ないました。 ・ミミ広い年代から確保しました。	リ親養育・家庭的保育・アミリーナボートセントター・放課後児童クラブ・地域子育て支援拠点等の事業支援の実績等による人材を確保しました。 ・学年レーベル等多様な機会を通じて支援員養成研修の開催を行ないました。 ・ミミ広い年代から確保しました。	子育て支援員説明会への参加の促進を図ることで多くの支援員を提供するべく、これまで多様な支援員を提供してきたところの組みます。 ・子育て支援員としての資質を確保するためには、一時的に支援員から離れている人へ復帰への働きかけを行ないます。 ・地域どこのつながりを深めることで多くの支援員への参加の促進を図るべく、これまで多様な支援員を提供してきたところの組みます。 ・子育て支援員としての資質を確保するためには、一時的に支援員から離れている人へ復帰への働きかけを行ないます。 ・地域どこのつながりを深めることで多くの支援員への参加の促進を図るべく、これまで多様な支援員を提供してきたところの組みます。 ・子育て支援員としての資質を確保するためには、一時的に支援員から離れている人へ復帰への働きかけを行ないます。				
②	③	④	⑤				
13人	12人	92.3%	《実施していること》 ・滋賀県が実施しています各種研修に参加し知識の習得をします。 《実施で行きたいこと》 ・研修を受けけて了しました子育て支援員を地域の実習や二ースに受けられます。 《実施が困難なこと》 ・本当に支援が必要な方へのつながりをつくることが困難です。	① ・基本目標達成度 基本的方 向度況	② ・基本目標達成度 基本的方 向度況	③ ・基本目標達成度 基本的方 向度況	④ ・基本目標達成度 基本的方 向度況
H30	14人						
H31	15人						
目標達成(H31)	15人	12人	80.0%				

施設から検査まで、その時々のニーズにあつた切れ目のない支援を行ないます。									
地域のつながりを深める中で、結婚まで子育て支援を行ないます。		地域のつながりを深める中で、結婚まで、その時々のニーズにあつた切れ目のない支援を行ないます。							
施設名	施設名	施設名	施設名	施設名	施設名	施設名	施設名	施設名	施設名
基本目標 ・結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	○結婚に向けて男女の出会いの場の創出を図ります。	○出産に向けた男女の負担の軽減により支離れの元妻や子育てなどに係る負担の軽減などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。	○子育て支援のサポーターや、環境状況の改善などを図ります。	○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを図ります。	○育児休業の普及などを図ります。	○育児休業の普及などを図ります。	○育児休業の普及などを図ります。	○育児休業の普及などを図ります。	○育児休業の普及などを図ります。
施設名 H29	7	施設 H30	1 ケ所	施設 H31	1 ケ所	施設名 H31	1 ケ所	施設名 H31	1 ケ所
施設内容 ・保護者の都合により、一時的に家庭で保育できない場合の支援としてファミリーサポートセンターを整備します。	①重要業績評価指標(KPI)	内部検証	外部検証	②検証結果	結果	コメント	結果	コメント	結果
指標名 ファミリーサポートセンターの整備数 基準値 (H29) 0 ケ所	提供登録会員数 指標 担当部署 子ども支援課 自県 子ども支援課 実績 新規登録 実績 登録率 目標 0 人	依頼登録会員数 指標 子ども支援課 実績 新規登録 実績 登録率 目標 0 人	[取り組み状況] 児童の預かりを受けたい者どん当該支援を行なうセミナー、ファミリーサポートセントターを設置し子育て支援を行なうセミナー、子育て支援セミナーの登録を進め協力会員の賛同を得て開催する情報を共有を進めています。 ③ 施設 ② 用など幅広い内容に向けたセミナーを実施しました。日野メールの活用など各種事業を実施するための協力会員との連携を明確化するよう進めてきました。	[今後の取り組み] ・ファミリーサポートセントターを地域の子育ての場となるよう進めます。セントナーに子育て支援施設団体との情報共有を進めます。 ③ B	④ 《実施していること》 ・ファミリーサポートセントターの運営の支援をしています。 ・ファミリーサポートセントターが町民の皆さんから認知されるよう広報に努めています。 ④ 《実施できていないこと》 ・個別の相談について、他の団体との連携についての課題です。 ⑤ 《実施が困難なこと》 ・特にあります。	・依頼会員から登録会員にセミナーを作ることが必要です。サービスの運営が力になってしまいます。 ・人の役が、主張的に町の課題に陥るということに繋がります。	④ 《今後の取り組み》 ・ファミリーサポートセントターを地域の子育ての場となるよう進めます。セントナーに子育て支援施設団体との情報共有を進めます。 ③ B	④ 《今後の取り組み》 ・ファミリーサポートセントターを地域の子育ての場となるよう進めます。セントナーに子育て支援施設団体との情報共有を進めます。 ③ B	④ 《今後の取り組み》 ・ファミリーサポートセントターを地域の子育ての場となるよう進めます。セントナーに子育て支援施設団体との情報共有を進めます。 ③ B
指標名 H29	1 ケ所	指標 H30	1 ケ所	指標 H31	1 ケ所	指標 H31	1 ケ所	指標 H31	1 ケ所

基本目標	結婚・出産・子育てのみんなで支えてかなえる	地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時代のニーズにあつた切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちをめざします。
基本的方針	○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。 ○出産に対する負担の軽減により一ビースの充実を図ります。 ○育児休業の取扱促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。	
施策範囲	8	施政 交流できる場の充実

施策内容・既存の公園や施設等を活用し、親子や多世代が交流できる場を整備します。

指標名 (H26) 担当部署	交流できる場の整備数 件数	①重要業績評価指標 (KPI)			内部検証 【取り組み状況】	外部検証 【今後の取り組み】	⑥検証 結果 コメント
		基準値 目標 達成率	実績 達成率	目標 達成率			
H29	0 ケ所	0 ケ所	0.0%		・関係部署（子ども支援課、長寿福祉課、企画振興課、企画振興課内等具体的な事項について、課設計図課、企画振興課、企画振興課場所において、課題を進めます。担当課と元力が課題が、実際に交渉できる場所が、真に交渉できる場所として機能を果たせることを、開設課と調整課の上、検討していきます。 ② ・組合・専門の取り組みが進んでいない事業を併せて、地域を進める決定を受けました。 ③ ・組合・専門の取り組みが進んでいない事業を併せて、地域を進める決定を受けました。	・交流できる場として、利用者が必要な機能を充実し、担当課と元力が課題を進めます。 ・整備された場所が、実際に交渉できる場として機能を果たせるようになります。 ④ ・実施していること ・地域のつながりを深めようとして、その子育て広場（まけっと）において、その機会をつくる場をつくりました。 ・つながりで地域のつながりが生まれるよう、関係課でその仕掛けについて検討を行いました。 ⑤ ・《今後の課題》 ・整備された交流できる場において、住民主体でどのようにうつし、実行に移していくことが必要です。 ⑥ ・対象となる世代の方々が主目的に参画し、協議会がつくれるよう、関係課で検討を行います。 ・その仕組み作りに向け、具体的な支援を行います。	C
H30	1 ケ所						
H31	1 ケ所						
目標値 (H31)	1 ケ所	0 ケ所	0.0%				

基盤目標 結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる
○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。 ○出産に向けた男女の出会いの場の創出により支援のサービス等、現状のサービスの充実や子育てを通じて、子ども・子育て支援の充実を図ります。 ○子育て支援のための取組促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。

基本の方針 施策化	⑨	福祉医療制度の実施
施策内容 ・どの子も安心して医療を受けられるよう、福祉医療制度を実施します。		

①重要実績評価指標 (KPI)										
内部検証					外部検証					
指標名 福祉医療制度の対象範囲 基準値 (H30年) 担当部署	取り組み状況				⑥検証結果 コメント					
	実績 目標	達成率 目標	実績 目標	達成率 目標						
⑤H29 中学3年生　中学3年生 100.0%	実績 目標	達成率 目標	実績 目標	達成率 目標	③ A	④ ・全体の子育て支援事業の立地や、対象年齢の把握の難易度に対する取り組みを進めています。 ・具体的には、近隣市町のバラモンズ等を参考して、より詳しく調査する方法で、どのように取り組んでいます。 ・また、制度の調査・研修に実際に留まることで支援の面でも、より効率的に取組みます。 ・実施だけではなく、具体的な制度の見直しが必要であることを図る視点が必要です。	【今後の取り組み】 ① ・具体的な年齢層の把握を図るために、より詳細な立地調査を実施します。 ・年齢層別に留まることで、より効率的に取り組むことができます。 ・また、制度の見直しや、実施だけではなく、具体的な制度の見直しが必要であることを図る視点が必要です。	【今後の取り組み】 ② ・具体的な年齢層の把握を図るために、より詳細な立地調査を実施します。 ・年齢層別に留まることで、より効率的に取り組むことができます。 ・また、制度の見直しや、実施だけではなく、具体的な制度の見直しが必要であることを図る視点が必要です。	【今後の取り組み】 ③ ・具体的な年齢層の把握を図るために、より詳細な立地調査を実施します。 ・年齢層別に留まることで、より効率的に取り組むことができます。 ・また、制度の見直しや、実施だけではなく、具体的な制度の見直しが必要であることを図る視点が必要です。	【今後の取り組み】 ④ ・具体的な年齢層の把握を図るために、より詳細な立地調査を実施します。 ・年齢層別に留まることで、より効率的に取り組むことができます。 ・また、制度の見直しや、実施だけではなく、具体的な制度の見直しが必要であることを図る視点が必要です。
H30 中学3年生 100.0%	実績 目標	達成率 目標	実績 目標	達成率 目標	H31 中学3年生 100.0%	実績 目標	達成率 目標	実績 目標	達成率 目標	
目標値 (H31) 100.0%	実績 目標	達成率 目標	実績 目標	達成率 目標	目標値 (H31) 100.0%	実績 目標	達成率 目標	実績 目標	達成率 目標	

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる
基本的方針	○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を行ないます。 ○出産に向けた男女の安心のサポート等のサービスの充実を図ります。 ○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及を通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。

施設内容	・保育所に通園している子どもたちの支援を幼稚施設の心理士などが、保育所の保育士とともに支援を行ないます。
------	--

施設名	10 鹿児島市立保育園
-----	-------------

施設内容

・保育所に通園している子どもたちの支援を幼稚施設の心理士などが、保育所の保育士とともに支援を行ないます。

①重要業績評価指標（KPI）

指標名	訪問児童数					
	基準値 (H26) 0人	達成状況 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率	実績 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率	実績 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率	実績 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率	実績 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率
H29	20 人 合計	4 人 合計	200%			

基本的方針 基準達成までの状況	本目標達成までの状況

○実施できていないこと

・訪問委員会等の調整会議の開催などとの検討が進むこと。

○実施できなかったこと

・他の発達支援事業やごどん塾の授業しながら、子どもたちにとつて必要な支援の場を検討していく必要があります。

○実施できなかったこと

・児童の発達支援事業やごどん塾の授業しながら、子どもたちにとつて必要な支援の場を検討していく必要があります。

○実施できなかったこと

・児童の発達支援事業やごどん塾の授業しながら、子どもたちにとつて必要な支援の場を検討していく必要があります。

○実施できなかったこと

・児童の発達支援事業やごどん塾の授業ながら、子どもたちにとつて必要な支援の場を検討していく必要があります。

○実施できなかったこと

・児童の発達支援事業やごどん塾の授業ながら、子どもたちにとつて必要な支援の場を検討していく必要があります。

○実施できなかったこと

・児童の発達支援事業やごどん塾の授業ながら、子どもたちにとつて必要な支援の場を検討していく必要があります。

外部検証

②検証結果

③コメント

④検証結果

⑤コメント

⑥検証結果

⑦コメント

⑧検証結果

⑨コメント

⑩検証結果

⑪コメント

⑫検証結果

⑬コメント

⑭検証結果

⑮コメント

⑯検証結果

⑰コメント

⑱検証結果

⑲コメント

⑳検証結果

㉑コメント

㉒検証結果

㉓コメント

㉔検証結果

㉕コメント

㉖検証結果

㉗コメント

㉘検証結果

㉙コメント

㉚検証結果

㉛コメント

㉜検証結果

㉝コメント

㉞検証結果

㉟コメント

㉟検証結果

㉟コメント

㉟検証結果

㉟コメント

内部検証

①検証結果

②検証結果

③検証結果

④検証結果

⑤検証結果

⑥検証結果

⑦検証結果

⑧検証結果

⑨検証結果

⑩検証結果

⑪検証結果

⑫検証結果

⑬検証結果

⑭検証結果

⑮検証結果

⑯検証結果

⑰検証結果

⑱検証結果

⑲検証結果

⑳検証結果

㉑検証結果

㉒検証結果

㉓検証結果

㉔検証結果

㉕検証結果

㉖検証結果

㉗検証結果

㉘検証結果

㉙検証結果

㉚検証結果

㉛検証結果

㉜検証結果

㉝検証結果

㉝検証結果

㉝検証結果

㉝検証結果

㉝検証結果

㉝検証結果

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる
基本的目標	○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。 ○出産に向けた男性的負担の軽減による支援のため、ボーダー・サービスの充実などを図ります。
具体的目標	○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。

施設内容	・保護者やボランティア、地域住民が連携し、子どもたちの成長段階に応じて活動を推進します。
------	--

施設名	校舎引渡し日	開設年	運営主体	運営形態	内部検証	外部検証	①重要業績評価指標（KPI）		②検証結果
							賞出数（生徒100人あたり）	取り組み状況	
H29	6 株	100.0%	1,050 円	847 円	80.7%	A	6.6	田内のすべての小・中学校に学級図書館・保健室で移動図書館サービスを実施します。保健室で子育てサロモンなどを訪問します。また、生徒がつかない時間に、児童が利用する時間に合わせて、地元の図書館にて巡回して活動を実施します。	①
H30	6 株		1,200 円						②
H31	6 株		1,300 円						③
自課題 (H31)	6 株	100.0%	1,300 円	847 円	65.2%				④

結婚から子育てまで、その時々のニーズにあつた検査 策 証 検 査 策

施 策 檢 証 シ ネ ト

地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時代のニーズにあった切れ目のない支援を行ってくださいます。								
基本目標		地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時代のニーズにあった切れ目のない支援を行ってくださいます。						
基準目標		地域のつながりを深めることで、企業の運営環境により支障を及ぼさず、より良い社会貢献を実現します。						
施策No.	施策内容	基準目標	達成目標	実績	評価	取り組み状況	外部検証	
H-12	・企業訪問等の機会を通じて、男女の雇用機会均等、ワーク・ライフ・バランス等の啓発により、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進します。 ・職休育児休業のサポート等、現状のサークル等、経営や方針決定過程への女性の参画拡大の啓発などを図ります。	地域のつながりを深めることで、企業の運営環境により支障を及ぼさず、より良い社会貢献を実現します。	地域のつながりを深めることで、企業の運営環境により支障を及ぼさず、より良い社会貢献を実現します。	① 勤きやすい職場環境の推進	勤きやすい職場環境の推進	【取り組み状況】 ① 勤きやすい職場環境づくりを推進 するため、協調会や商工会と連携して企業懇親会や企業訪問修学等やワーク・ライフルーム等の協調会を開催。また、女性の活躍やワーク・ライフルーム等の啓発を行いました。さらに、内企業の促進、離職率の改善等の取り組みについてアソシング・ダイバーシティ経営について講演会を開催しました。女性グループの自主的な活動に取り組みました。	【今後の取り組み】 ② 勤きやすい職場環境づくりを推進 するため、協調会や商工会と連携して企業懇親会や企業訪問修学等やワーク・ライフルーム等の協調会を開催。また、女性の活躍やワーク・ライフルーム等の啓発を行いました。さらに、内企業の促進、離職率の改善等の取り組みについてアソシング・ダイバーシティ経営について講演会を開催しました。女性グループの自主的な活動に取り組みました。	⑥検証結果 ・働きやすい職場環境づくりをめざすには、企業の意識の変化が最も大切です。そのため、働き組みを進めることで、より多くの女性が働きやすくなることを目指して取り組んでいます。また、女性の活躍やワーク・ライフルーム等の啓発を行いながら、内企業の促進、離職率の改善等の取り組みについてアソシング・ダイバーシティ経営について講演会を開催しました。女性グループの自主的な活動に取り組みました。
H-129	① 勤きやすい職場環境の推進	① 勤きやすい職場環境の推進	① 勤きやすい職場環境の推進	① 勤きやすい職場環境の推進	① 勤きやすい職場環境の推進	① 勤きやすい職場環境の推進	A ・働きやすい職場環境づくりをめざすには、企業の意識の変化が最も大切です。そのため、働き組みを進めることで、より多くの女性が働きやすくなることを目指して取り組んでいます。また、女性の活躍やワーク・ライフルーム等の啓発を行いながら、内企業の促進、離職率の改善等の取り組みについてアソシング・ダイバーシティ経営について講演会を開催しました。女性グループの自主的な活動に取り組みました。	
H-130	② 勤きやすい職場環境の推進	② 勤きやすい職場環境の推進	② 勤きやすい職場環境の推進	② 勤きやすい職場環境の推進	② 勤きやすい職場環境の推進	② 勤きやすい職場環境の推進	⑤ 検証結果 ・働きやすい職場環境づくりをめざすには、企業の意識の変化が最も大切です。そのため、働き組みを進めることで、より多くの女性が働きやすくなることを目指して取り組んでいます。また、女性の活躍やワーク・ライフルーム等の啓発を行いながら、内企業の促進、離職率の改善等の取り組みについてアソシング・ダイバーシティ経営について講演会を開催しました。女性グループの自主的な活動に取り組みました。	
H-131	③ 勤きやすい職場環境の推進	③ 勤きやすい職場環境の推進	③ 勤きやすい職場環境の推進	③ 勤きやすい職場環境の推進	③ 勤きやすい職場環境の推進	③ 勤きやすい職場環境の推進	④ 検証結果 ・働きやすい職場環境づくりをめざすには、企業の意識の変化が最も大切です。そのため、働き組みを進めることで、より多くの女性が働きやすくなることを目指して取り組んでいます。また、女性の活躍やワーク・ライフルーム等の啓発を行いながら、内企業の促進、離職率の改善等の取り組みについてアソシング・ダイバーシティ経営について講演会を開催しました。女性グループの自主的な活動に取り組みました。	

施設内容	・保育二ースの多様化に対応するため、地域ボランティアなど幅広い人材の確保・育成に努め、児童福祉の推進体制を確立を図ります。
------	---

施設名	学童保育所の整備数	①重要業績評価指標(KPI)			
施設名	6ヶ所	基準	達成度	目標	実現度
担当部課	子ども支援課	実績	達成度	目標	実現度

施設名	学童保育所の整備数	内部検証				外部検証	コメント	⑤検証結果
		【取り組み状況】	【今後の取り組み】	【取り組み状況】	【今後の取り組み】			
H29	7ヶ所	実施していること	《実施していること》 ・田内7つの学童保育所に対して運営補助を実施することに努めました。	実施していないこと	《実施していないこと》 ・南比都学区学童及びひ西大路学区学童の施設の老朽化への対応がでできていません。 ④《実施が困難なこと》 ・このノキオの送迎用の駐車場の確保が難しい状況です。	B	・地域や保護者とのつながりのネットワークを作成するという観点から、人材確保会議に活動等を指向します。どうぞよろしくお問い合わせください。 ・施設のソフト面での充実に努めて下さい。	
H30	7ヶ所	実施していること	《実施していること》 ・長期休暇中のみの申込みが増えており対応が必要です。 ・低所得者層への対応です。 ・南北比都佐・西大路について既存施設の活用等多様な議論が必要です。	実施していないこと	本目標を達成までの状況			
H31	8ヶ所	実施していること	《実施していること》 ・南北比都佐・西大路について既存施設の活用等多様な議論が必要です。	実施していないこと	本目標を達成までの状況			
目標額	8ヶ所	実施していること	《実施していること》 ・南北比都佐・西大路について既存施設の活用等多様な議論が必要です。	実施していないこと	本目標を達成までの状況			

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる
------	--------------------------

- 結婚に向けた男女の出会いの場の支援の充実を図ります。
- 出産に向けたの県民の登録により支援の充実を図ります。
- 子育てサポート等、現状のサービスの充実や子育てを通じて、子ども・子育て支援の充実を図ります。
- 育児休業の取扱促進や多様な働き方の普及などを図ります。

施策内容	児童・生徒の自主的学習の補助ならびに自主的学習の機会を確保するための学習支援教室の実施と、その内容充実を図ります。
------	---

指標名	学習支援教室を開催する会員数 (以上2ヶ所)	①重要業績評価指標 (KPI)			内部検証 〔取り組み状況〕	〔今後の取り組み〕	外部検証 〔検証結果〕	
		基準 達成状況	目標 達成状況	実績 達成率				
H29	7ヶ所	5ヶ所	71.4%	施設	基礎的な学習の補充ができるよう、重点的に取り組みとして、昨年度に引き継ぎ講師(講師員を中心)による「夏休みチヤンレンジ教室」を開催します。また、小学校でも「放課後ごども教室」として地元の小学校に合わせて公民館なども運営されています。昨年度に拡大するすべての小学校で取り組みます。昨年夏に拡大した学習支援につきましては、「要保護世帯」から「要保護世帯」(「要保護世帯」に拡大)に引き続き、中学生の学習象者(「要保護世帯」に拡大)に実施する予定です。	平成30年度も「夏休みチヤンレンジ教室」を6回開催します。また、小学校ごども教室」(「要保護世帯」)を開催します。昨年夏に拡大した学習象者(「要保護世帯」)から「要保護世帯」(「要保護世帯」に拡大)に引き続き、中学生に対象を広げます。	B	・毎年度のコメントに対し、の対応が不十分です。引続き、保護者からみて、切磋琢磨の「ニース」支援を効果的に実現するには、必ず全員の声の無いサポートをしてほしい。そのため、自らの力をもってそれを引き出し、他の子供たちの学力も引き出すことを心がけてください。
H30	7ヶ所							
H31	7ヶ所							
目標 (H31)	7ヶ所	5ヶ所	71.4%					

施設、施策、シート、検証、これまで、その時代のニーズにあつた切れ目のない支援を行い、若い世代が出生や子育てに希望をもてるまちをめざします。

地域のこながりを深める中で、経済から子育てまで、その種々のニーズにあつた切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望を持てるまちをめざします。

日本自潔化 結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかねる

○出産に向けた第一等、骨盆の開拓術などの副手を図ります。
○育児休業の取扱い足進みの出産院にてサポートを行います。
○育児休業の取扱い足進みの出産院にてサポートを行います。

施設名	15	施政	受学制度の充実		内部検証	外部検証
			指標名	奨学生の貸与人數		
施設A	15	施政	①重要業績評価指標 (KPI)	4 人		
施設B	15	施政	②重要業績評価指標 (KPI)	10 人	40.0%	
施設C	15	施政	③重要業績評価指標 (KPI)	12 人		
施設D	15	施政	④重要業績評価指標 (KPI)	15 人	26.7%	

<p>基本目標</p> <p>暮らしやすい地域とつながり、安心して生み続けられるまちをつくる</p> <p>地域の人とのつながりを育むため、地域の多様なコミュニティが運営する住民主体の活動を支援します。</p> <p>○人ど場所ど機会をつくり、より、地域の力を活かしたくまでもあります。</p> <p>○住民主体のつながりの場づくりにより、地域の力を活かして、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいます。</p> <p>○地域のつながりの機会、資源による地域社会の活性化を進めます。</p> <p>○地域のつながりの機会、資源による地域社会の活性化を進めます。</p> <p>○地域のつながりの機会、資源による地域社会の活性化を進めます。</p>	<p>家庭でのきずなはもどおり、地域での人と人のつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自らくらしやすいたい地域をつくり、これまでの自治活動の発展じとも含め、地域課題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまでもあります。</p> <p>「おたがいしま」の助け合い、自分の「自慢」を持ち寄り、生きがいをつくります。また、一人ひとりの意見や行動を認め合い、家庭や地域での話し合いの中で、ともに住みよい地域を作ります。</p> <p>・地域住民による自主的なまちづくりを進めため、課題解決のために集団点検会議をはじめ、各種事業をとり組みます。また、先人の知恵を受け継ぐとともに、地域解決に向けた地域での学びを支援します。</p> <p>施設内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地政事務室による伝統行事、伝統工芸事、伝統文化に対する支授します。 ・施設内寄りの仕事などで自己実現や自己成長、自己実現の推進。 ・自治の基本の考え方、自治の基盤、自治会単位の交流等、地域の文化交流を推進します。 	<p>運取のまちの推進</p> <p>・運取のまちづくりを進めため、課題解決のために集団点検会議を通じた世代間交流による各種事業をとり組みます。</p> <p>①重要業績評価指標 (KPI)</p> <table border="1" data-bbox="397 148 587 2189"> <thead> <tr> <th colspan="4">運取のまちの計画の策定自治会数</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>目標</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担当部課 企画振興課 自治</td> <td>6件(実績)</td> <td>7件 達成度 目標達成</td> <td>達成度 目標 実績 達成度</td> </tr> </tbody> </table>	運取のまちの計画の策定自治会数				基準値	H25	目標	達成度	担当部課 企画振興課 自治	6件(実績)	7件 達成度 目標達成	達成度 目標 実績 達成度
運取のまちの計画の策定自治会数														
基準値	H25	目標	達成度											
担当部課 企画振興課 自治	6件(実績)	7件 達成度 目標達成	達成度 目標 実績 達成度											

指標名	まちづくり計画の策定自治会数	【取り組みが況】	【今後の取り組み】	外部検証
基準値	(H25)	①地域のつながりを育むため、課題解決のために集団点検会議を通じた世代間交流に対する支授による各種事業をとり組みます。	・地域のつながりを育むため、課題解決のために集団点検会議を通じた世代間交流に対する支授による各種事業をとり組みます。	@検証 結果
実績	15	14 〔実計〕	93.3%	A
②運取のまちづくりを進めため、課題解決のために集団点検会議を通じた世代間交流による各種事業をとり組みます。	H29	②地域のつながりを育むため、課題解決のために集団点検会議を通じた世代間交流に対する支授による各種事業をとり組みます。	・運取のまちづくりを進めため、課題解決のために集団点検会議を通じた世代間交流に対する支授による各種事業をとり組みます。	②検証 結果
実績	15	14 〔実計〕	93.3%	A
③運取のまちづくりを進めため、課題解決のために集団点検会議を通じた世代間交流による各種事業をとり組みます。	H30	18 〔計〕	18 〔計〕	③検証 結果
実績	21	21 〔計〕	66.7%	③検証 結果
目標値	(H31)	21 〔計〕	66.7%	③検証 結果

自転車くらし安心ひどづくり組合検査 証

4

家庭でのきずなはもどより、地域の人とのつながり(きずな)を育み、頭の見える関係のもと、住民が自ら暮らしやすい地域をつくり、それもとで安全で安心して生み
繰り返されるまちをめざします。また、生民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。

○地域での人と人のつながり(きずな)を育むため、地域の多様なコミュニティ活動を推進します。

・自治会などにおいて、地域のアソシエーターとして、地域協力員の活動の場を広げられるよう民選委員会を運営します。

施設内容

・閉じこもりひどづくり組合検査 証

施設名

地域福祉活動の推進

くらしやすい地域とつなり、安心して生み続ければれるまちをつくる
課題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。

○地域での人と人とのつながり(きずな)を育むため、生民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。

・自治会などにおいて、地域のアソシエーターとして、地域協力員の活動の場を広げられるよう民選委員会を運営します。

施設名

地域福祉活動の推進

施設内容

・閉じこもりひどづくり組合検査 証

調査名	①重要業績評価指標((KP1))					内部検証	外部検証					
	民生委員児童委員	福祉協力員数	宇都宮社会設置数	【取り組み状況】	【今後の取り組み】							
基準値 (H26)	72人	404人	59件	・宇都宮社会や福祉協力員が主体となり、引き続き助成金制度を交付します。 ・福祉協力員が地域の子ども達に、高齢者世帯等への訪問支援を行います。	・宇都宮社会や福祉協力員が主体となり、引き続き助成金制度を交付します。 ・地域の福祉会員に、引き続き話し合いなどを実現します。	○	A					
担当部署 基本計画 担当課題 目標	福利厚生課 自県 医療 消防 済医政 福祉保健課 自県 医療 消防 済医政 福祉保健課 自県 医療 消防 済医政	① ② ③ ④ ⑤	施設 施設 施設 施設 施設	・宇都宮社会や福祉協力員が主体となり、助成金を交付します。 ・福祉協力員が地域の子ども達に、高齢者世帯等への訪問支援を行います。 ・1地区社会においては取組みの一つとして、3世代交流を実施します。 ・3世代交流を通じて、自分たちの地域を自慢しまる。「いっしょで楽しむ」という言葉で、他の地域で参考見につながりました。 ・2地区をモチーフとして、地域の生活課題等について話し合いの場を提供しました。	・宇都宮社会や福祉協力員が主体となり、助成金を交付します。 ・福祉協力員が地域の子ども達に、高齢者世帯等への訪問支援を行います。 ・1地区社会においては取組みの一つとして、3世代交流を実施します。 ・3世代交流を通じて、自分たちの地域を自慢しまる。「いっしょで楽しむ」という言葉で、他の地域で参考見につながりました。 ・2地区をモチーフとして、地域の生活課題等について話し合いの場を提供します。	○	・前回や形にこだわらず、若にやるどいう風に自分たちのためのイベントを増やすには、参加者数を増やすために、主催者本部が必要です。そのための支援やごきくすながりを増やすには、参加者数を増やすために、主催者本部が必要です。笑顔はじめて活動等を運営する機会等をつくります。 ・地域の福祉会員に、引き続き話し合いなどを実現します。					
H29 ○	73人	73人	100件	425人	407人	95.8%	70人	59件	84.3%	○	⑥	●《実施していること》 ・歩いているところの豊富な交流の場所でのサロン実施のための助成制度を設けています。より地域での楽しい地域（二互いの交流の場）を設けています。 ・地域（二互いの交流の場）を設けています。 ・生産性による一人暮らしの老人等の訪問など見守りの活動を実施しています。 ・特にありません。 ⑦ ●《実施できていないこと》 ・高齢者等が出ており、福祉協力を發揮できない ・今まで実行部隊があつたので、実行部隊が無くなってしまった。
H30	73人	435人					75人					
H31	73人	450人					83人					
目標値 (H31)	73人	73人	100件	450人	407人	90.4%	83人	59人	71.1%			

基本目標	4	家庭でのきずなはもどり、地域でのへと人のつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自らくらしやすい地頭をつくり、これまでの自治活動を見直しも含め、地域で繋がるまちをめざします。また、地域の力を発揮して、住民の活動を支援します。
基本目標	4	くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる課題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。
基本的方向	○地域の人とのつながりの育むため、資源を発掘します。 ○生民主体の出合いの場づくりにより、地域の多様なコミュニケーションを支援します。	
施設名	3	○住民の見えあるつながりの中、「団りごと」を実現します。 ○地域福祉活動の推進、安心・安全なまちづくりを推進します。

施設内容・市民活動のリーダー育成やボランティアの組織化を図ります。

指標名	ボランティア団体の登録数 (H25)	担当部署 福祉・保健課 自然	①重要業績評価指標 (KPI)			内部検証 【取り組み状況】	外部検証 【今後の取り組み】	⑥検証 結果 コメント
			運営班	自然	環境			
H29	16 団体	15 団体	93.8%	①	②	③	B	④
H30	16 団体							
H31	16 团体							
目標額 (H31)	16 団体	15 団体	93.8%					

基本目標	4	家庭でのぎすなはなめどより、地域の人とのつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自らくらしやすい地域をつくり、そのちどで安全で安心して住み続けられるまちをつくる
基本目標	4	①地域での人と人のつながり、安心して生み繋げられるまちをつくる ○地域での人と人のつながり（きずな）を育むため、地域の多様なコミュニティが連携する課題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいます。 ○人とのつながりの発展により、地域資源を活用します。また、地域の力を活かした課題解決能力を育めさせます。
基本的方針	4	○生民主体のつながりの発展により、地域に暮らす人同士の「おたがいさまで」の助け合い、自分の「自慢」を持ち寄り、生きかいを持てる仕組みをつくります。 ○地域のつながりの中での「団り」ことなどを推進します。 ○地域活動を重視します。 ○自治活動を重視します。
施策内容	4	・地域で活動している人材と連携し、コミュニティビジネスを創出することにより、地域課題の解決に結びつけ、コミュニティの活性化を図ります。

指標名	基準値 (H26) 0件	①重要業績評価指標 (KP1) コミュニティビジネスの創業	内部検証			外部検証 結果
			取り組み状況	今後の取り組み	コメント	
施策		<p>【取り組み状況】</p> <p>① 全国各地で取り組まれているコミュニティビジネスについて情報収集するところでも、地域の課題を解決する取組みなども実施しています。地域の課題を解決する取組みなども実施されています。地域の課題を解決する取組みなども実施されています。</p> <p>② 地域の課題を解決する取組みなども実施されています。地域の課題を解決する取組みなども実施されています。</p> <p>③ 地域の課題を解決する取組みなども実施されています。地域の課題を解決する取組みなども実施されています。</p>	<p>・引き続き地域課題の把握と、それに応じて情報収集します。</p> <p>・地域の課題を手に取る場合、お金だけではなく、どういった課題を解決するかあります。</p> <p>・地域の課題を手に取る場合、お金だけではなく、どういった課題を解決するかあります。</p>	<p>△</p> <p>・地域の課題をコミュニティビジネスで解決する場合、お金だけではなく、どういった課題を解決するかあります。</p> <p>・地域の課題をコミュニティビジネスで解決する場合、お金だけではなく、どういった課題を解決するかあります。</p>		
H29	1 件	5 件	500.0%			
H30	1 件					
H31	1 件	5 件	500.0%			
目標値 (H31)						

基本目標	日野町くらし安心ひとづくり総合戦略 4	家庭でのきのこ人とのつながり、地域の人とのつながりを育み、頃の見える関係のもと、住民が自らくらしやすい地域をつくり、そのもじで安全で安心して住み続けられるまちをつくる
基本目標	くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	○地域の人とのつながり（きずな）を育むため、地域の多様な資源をめぐらす人材・資本をめざします。また、地域を取り組んでいくまちをめざします。
基本的方向	○人と団体との出会いの場づくりに、「おたがいさまで、地域の資源をめぐらす人材・資本をめざす人材・資本をめざします。 ○住民主体の見えてくる「おたがいさまで、地域の取り組みによる、安心・安全なまちづくりを推進します。	○地域の力で、取り組んでいくまちをめざします。
施策No.	7	施政方針 農林業を活かした中間就労の創出

施政内容
・地域資源である農林業で、一般就労が困難な人を結びつなげることにより、中間就労の場を創出します。

指標名	中間就労の場 基準値 10ヶ所	①重要業種評価指標 (KPI)						内部検証 ◎検証 結果	外部検証 ◎検証 結果
		担当部署 農林業・経済課 自給	農林業・経済課 共同	自賃	運営事務	自賃	運営		
H29	1 ケ所	1 ケ所	100%	・町内の作業所で、農業を通じた中間就労の一步手前のステップとなる農業班での活動を行っています。20年度は農業班専用の作業効率向上を図りました。 ・引きこもってしまった方が社会復帰するための手段の一つとして「日野産〇〇」を地域に貢献する中で良質な農作物等を生産・販売していくことを目표としています。	・作業者農業班を有効的に活用し、米や日野産等の醸造業者「作業所ブランド」として醸造業者農業班を有効的に活用し、米や日野産等の醸造業者「作業所ブランド」は「日野産〇〇」を普及するための手段の一つであり、地域で良質な農作物等を生産・販売していくことを目標としています。	・引き続き、ひきこもりの方には難しいところを一緒に見てもらいたい方へも、地域で地元の力もない方へも、地元の力でできない方へも、就労のためにつながる取組の仕組みづくりをお願いします。	B		
H30	2 ケ所								
H31	3 ケ所								
目標値 (S)	3 ケ所	1 ケ所	33.3%						

白野町くらし安心ひとりづくり総合戦略

4

基本目標① 暮らしやすい地域となり、安心して住み続けられるまちをつくる	○地域の人々へのつながり（きずな）を育み、地域の見える関係のもとで安全で安心して住む 輪題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。
基本的方向 ○自治活動の見本	○人と場所との機会をつなぐ、人々・資源を地域をめざします。 ○生民主体の出会いによる「おたがいさま」の助け合い、自分の「自慢」を持ち寄り、生きがいを待てる仕組みをつくります。 ○頃の見本がいる中で、「囲りごと」を出し合い、支えあうなど、地域のコミュニケーションにより、安心・安全なまちづくりを推進します。
施設名 施設内容	施設名 施設内容
施設名 施設内容	施設名 施設内容

施設内容　・障がいのある人が、自分らしくいきいきと暮らせるよう就労を支援します。

施設名	施設内容	① 需要課題把握状況			内部検証			外部検証
		取り組み状況	今後の取り組み	コメント	⑥ 挑戦 結果			
H29	・働き暮らし応援センター利用登録者数 82人	・働き暮らし応援センターの講習会開催に伴い、就労支援事業所などと連携を図りながら、生きがいの発見や就労支援面も含めて就労支援を行っています。 ・事業所（企業）の障害者理解を促進するなどして、職場環境改善に取り組んでいます。 ・一時制を経て就労する方の就労継続につながるため「いちおしフローラム」へ参加していただくことで、障がいの方に理解を促進し、雇用の拡充を図ります。 ⑤	・引き続き就労支援事業所の拡充に努めることで、生きがいの発見や就労支援を図りながら、生きがいの発見や就労支援面も含めて就労支援を行っています。 ・企業に「いちおしフローラム」へ参加していただくことで、障がいの方に理解を促進していきます。 A	・町の若者は、財産としてキャリアをアピールして生きがいを生み出すことが必要です。 ・支援者が必要な人のところには、手を差し伸べていくべき、若い人が自立していくべき、セイセイを行政が把握していくべきことが求められています。				
H30	100人	132人 132.0%	④ 『実施できていないこと』 ・中間就労の層を確保することが困難です。 『実施が困難なこと』 ・手帳を取扱していない方が多く働きにくさを感じます。 『実施が困難しない方が多い場合があります。』 ・障がい者雇用を促進していなかった場合、実見が困難になります。	④ 『実施できていないこと』 ・中間就労の層を確保することが困難です。 『実施が困難なこと』 ・手帳を取扱していない方が多く働きにくさを感じます。 『実施が困難しない方が多い場合があります。』 ・障がい者雇用を促進していなかった場合、実見が困難になります。				
H31	120人							
自燃直(H31)	120人	132人 100%						

日野町くらし安心ひとづくり監査團

4

基本目標	家庭でのきぎすなはもどより、地域での人と人のつながり(きずな)を育み、顔の見える隣係のもど、住民が自らくらしやすい地域をつくり、そのもどで安全で安心して住み続けるまちをつくる
基本目標	くらしやすい地域となり、安心して住み続けられるまちをつくる
○地域での人とのつながり(きずな)を育めため、地域の多様なコミュニティが運営する住民主体の活動を支援します。	
○地場資源をつくって、住民が自ら発見し、学び、取り組んいくまちをめざします。	
○地域の出会いの場づくり、人材・資源を活用して地域に暮らす人同士の「おにいさまで」や、「おにいさま」の助け合い、自分の「自慢」を持つ暮らし、生きがいを持てる仕組みをつくります。	
○住民性の見えてくるつながりのなかで、「困難なこと」「困っていること」を理解・支援する取り組みにより、安心・安全なまちづくりを推進します。	

施設名
施設番号施設内容
・障がいのある人が地域において、自分らしくいきいきと暮らし続けられるよう、障害者グループホームの整備を行います。

指標名 基準値 担当部課	①重要な評価指標 (KP)										⑥検証結果
	内部検証			外部検証			コメント				
指標名	目標	達成状況	指標名	目標	達成状況	指標名	目標	達成状況	指標名	目標	
基準値 (H26) 福祉保健課	20人	達成	実績 目標	達成率 100%	達成率 達成率 目標	基準 実績	達成率 目標	達成率 達成率 目標	基準 実績	達成率 目標	A
施設		【取り組み状況】		【取り組み状況】		【取り組み状況】		【取り組み状況】		【取り組み状況】	
②		・強度行動障害の障がい者が利用できることが出来ました。		・引き続き、施設の障がいがあつても利用可能なグループホームを取り組みます。		・引き続き、施設の障がいがあつても利用可能なグループホームを取り組みます。		・引き続き、施設の障がいがあつても利用可能なグループホームを取り組みます。		・地域の障がいからならない交流や連携が必要です。	
③		施設		・強度行動障害の障がい者が利用できるグループホームを開所することが出来ました。		・強度行動障害の障がい者と家族が利用できるグループホームを運営いたします。		・強度行動障害の障がい者と家族が利用できるグループホームを運営いたします。		・地域の障がいからならない交流や連携が必要です。	
④		『実施していること』 ・新規にグループホームを開所することが出来ました。		『実施していないこと』 ・強度行動障害の障がい者が利用できるグループホームを運営することが出来ました。		『実施していないこと』 ・新規にグループホームの設置と人材確保機能を有する施設の運営をして参りました。		『今後の課題』 ・強度行動障害の障がい者と家族が利用できるグループホームを開所することが出来ます。		『今後の課題』 ・強度行動障害の障がい者と家族が利用できるグループホームを開所することが出来ます。	
⑤		■本目標達成までの状況		■本目標達成までの状況		■本目標達成までの状況		■本目標達成までの状況		■本目標達成までの状況	
H29	25人	29人	116%								
H30	28人										
H31	33人										
目標 (H31)	33人	29人	87.9%								

施 施 檢 査 善 証 記

地域での生きづらさはもっとよりも、人のつながり(きずな)を育み、顔の見えることで、住民が自らややすい地域をつくり、そのちどりで安全で安心して生み育む環境をつくり、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。

○地域の人と入のつながり(きずな)を育むため、地域の多様なコミュニケーションを実現する住民主体の活動を支援します。
○人と場所とのつながり、へき地・資源を育むため、学び、取り組んでいくまちをめざします。
○生民主体の出会いの場で、よりこどり、「困難」を乗り越え、「困境」を乗り越え、「支えあう」など、地元のコミュニティ活動を支援します。
○住民の見えるまちの中、地取締・防犯・防災などの取り組みにより、安心・安全なまちづくりを推進します。

施設内訳
施設名
施設種別
基盤面積
延床面積
内装面積
外装面積
窓面積
専用面積
共用面積
構造
耐震等級10
介護予防の促進・高齢者の自主的な活動支援

・介護予防に関する知識の普及啓発とおしゃべり教室など、地域支援サロンなど、自主的な活動の育成に支援を行います。

① 節約意識調査票						
内部検証				外部検証		
[取り組み状況]			【今後の取り組み】		⑤検証結果	
指標名	高にしゃべり介護予防の取り組み	地域交流サロン	①	②	③	④
基盤面積	141人	○ヶ所				
延床面積	1226	畳表記				
内装面積	1126	畳表記	①	②	③	④
外装面積	100	畳表記	①	②	③	④
窓面積	100	畳表記	①	②	③	④
専用面積	90	畳表記	①	②	③	④
共用面積	80	畳表記	①	②	③	④
構造	鉄筋コンクリート造	2階建	新築	既存改修	新築	既存改修
耐震等級	2	2	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
	129	174人	108.1%	9ヶ所	7ヶ所	77.8%
	161人					
	168人				12ヶ所	
	175人				15ヶ所	
目標値	175人	174人	99.4%	15ヶ所	7ヶ所	46.7%
目標値	(43)					

指標名	指標名	重要業績評価指標(KPI)			内部検証	外部検証
		交通事故発生件数	交通事故死傷者件数	目標		
基本目標	犯罪認知件数	141 件	64 件	未達成	未達成	△
基準値	住民票	642 件	未達成	未達成	未達成	未達成
施策内容	警察、日野町防犯自治会などの連携のもと、各地区自主防犯団体、学校、PTAとの協働により、地域ぐるみで推進します。	・警察、東近江地区交通安全推進会議、交通安全講習、交通安全教育・学習を行い、交通安全意識の高揚を図るとともに、住民による、自主的な取り組みを支援します。	・警視庁の「おひさま」の助け合い、自分の「官憲」を持ち寄り、生きがいを持つて活動する士組みをつくります。	・警視庁の「おひさま」の助け合い、自分の「官憲」を持ち寄り、生きがいを持つて活動する士組みをつくります。	① 警察、日野町防犯自治会、各地区自主防犯活動を実施し、PTAが協力して、小学校をはじめとした学校や、PTAが協力して、地域ぐるみで活動会場などを設け、日野町において、地域ぐるみで活動会場を設けた。また、交通安全講習会を行った。② 警察、日野町防犯自治会主催の交通安全講習会を開催した。また、交通安全講習会を実施し、日野町を始めとした地域での交通安全講習会を開催した。③ 警察、日野町防犯自治会主催の交通安全講習会を開催した。また、交通安全講習会を実施し、日野町を始めとした地域での交通安全講習会を開催した。④ 警察、日野町防犯自治会主催の交通安全講習会を開催した。また、交通安全講習会を実施し、日野町を始めとした地域での交通安全講習会を開催した。⑤ 警察、日野町防犯自治会主催の交通安全講習会を開催した。また、交通安全講習会を実施し、日野町を始めとした地域での交通安全講習会を開催した。	・警視庁の「おひさま」の助け合い、自分の「官憲」を持ち寄り、生きがいを持つて活動する士組みをつくります。
施策効果	結果	犯罪・事故のないまちづくりの推進	犯罪・事故のないまちづくりの推進	犯罪・事故のないまちづくりの推進	犯罪・事故のないまちづくりの推進	△
施策内容	警察、日野町防犯自治会などの連携のもと、各地区自主防犯団体、学校、PTAとの協働により、地域ぐるみで推進します。	・警察、日野町防犯自治会などの連携のもと、各地区自主防犯団体、学校、PTAとの協働により、地域ぐるみで推進します。	・警視庁の「おひさま」の助け合い、自分の「官憲」を持ち寄り、生きがいを持つて活動する士組みをつくります。	・警視庁の「おひさま」の助け合い、自分の「官憲」を持ち寄り、生きがいを持つて活動する士組みをつくります。	① 警察、日野町防犯自治会、各地区自主防犯活動を実施し、PTAが協力して、小学校をはじめとした学校や、PTAが協力して、地域ぐるみで活動会場などを設け、日野町において、地域ぐるみで活動会場を設けた。② 警察、日野町防犯自治会主催の交通安全講習会を開催した。また、交通安全講習会を実施し、日野町を始めとした地域での交通安全講習会を開催した。③ 警察、日野町防犯自治会主催の交通安全講習会を開催した。また、交通安全講習会を実施し、日野町を始めとした地域での交通安全講習会を開催した。④ 警察、日野町防犯自治会主催の交通安全講習会を開催した。また、交通安全講習会を実施し、日野町を始めとした地域での交通安全講習会を開催した。⑤ 警察、日野町防犯自治会主催の交通安全講習会を開催した。また、交通安全講習会を実施し、日野町を始めとした地域での交通安全講習会を開催した。	・警視庁の「おひさま」の助け合い、自分の「官憲」を持ち寄り、生きがいを持つて活動する士組みをつくります。
指標名	指標名	重要業績評価指標(KPI)	内部検証	外部検証	⑥検証結果	コメント
H29	117 件	88 件	124.8%	58 件	45 件	122.4%
H30	109 件			56 件		
H31	100 件			55 件		
目標値	100 件	88 件	112.0%	55 件	45 件	118.2%

基本目標	4	家庭でのきずなはまどより、地域の人とのつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自らくらしやすい地域をつくり、そのもとで安全で安心して生み
基本目標	くらしやすいために、安心して住み続けられるまちをつくる	課題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいきます。
基本的方向	○地域の人とのつながり（きずな）を育むため、地域の多様なコミュニティが連携します。	○人との懇親会をつくり、人材・資源を育むため、住民主体の出会いの場づくりによる、「より、地域に暮らし、「おたがいさま」の「自慢」を持つ暮らし、生きがいを持つる住民主体の活動を支援します。
基本的方向	○頭の見ええるまちづくり、「ふりこじ」という言葉で、介護・高齢者など、大会の取り組みにより、安心・安全なまちづくりを推進します。	○頭の見ええるまちづくり、「ふりこじ」という言葉で、介護・高齢者など、大会の取り組みにより、安心・安全なまちづくりを推進します。
施策No.	12	消防団活動の充実

施策内容 消防団の重要性・必要性を啓発し、地元自治会・企業等との連携強化により、団員の確保を図ります。（団員定数185人）

①重要業種評価指標（KPI）									
指標名	消防団員数	内部検証						外部検証	コメント
		基準額	超過額	基準額	超過額	基準額	超過額		
指標名 （H29）	185 人								△
担当部署	消防部								
施策内容	・消防団の重要性・必要性を啓発し、地元自治会・企業等との連携強化により、団員の確保を図ります。（団員定数185人）								
指標名 （H30）	185 人	100%							
担当部署	消防部								
施策内容	・消防団が活動していくために必要な本部組織をつくって、消防団の発展の支障や、消防団の運営における問題を解決し、課題や情報の共有に努め、消防団員の活性化と連携の強化を目指す。消防団が開催する各種セミナー活動や運動会に対する理解度を図るために、専門知識の習得や研修会の参加に努め、消防団員の活動に対する理解度を図る。消防団員に対して、各種セミナー活動や運動会に対する理解度を図るために、専門知識の習得や研修会の参加に努め、消防団員の活動に対する理解度を図る。								
指標名 （H31）	185 人	100%							
担当部署	消防部								
施策内容	・消防団の重要性・必要性を啓発し、地元自治会・企業等との連携強化により、団員の確保を図ります。（団員定数185人）								
指標名 （H31）	185 人	100%							

日整理くらし安心ひづくり検査報告書

施 様 檢 証 シート											
施業内容		家庭でのできるだけわかりやすい地域の人とのつながり、安心して住み続けられるまちをつくる課題について、住民が自ら見出し、半ば、半地、取り組んでいく möchtenします。									
施業No.	施業内容	災害時の地域での助けあいや防災活動の体制づくりとしての自主防災組織の育成									
①重要業績評価指標（KPI）											スコア
基準額 (H26)	自主防災組織数 8 基 <small>(実績)</small>	自主防災組織数 4 基 <small>(実績)</small>	基準額 自然	自然	基準額 森林	森林	基準額 浸水	浸水	基準額 雪崩	雪崩	83.3%
H29	相場 14 基 <small>(実績)</small>	相場 13 基 <small>(実績)</small>	相場 92.9%	相場 18 人 <small>(実績)</small>	相場 15 人 <small>(実績)</small>	相場 83.3%	相場 15 人 <small>(実績)</small>	相場 15 人 <small>(実績)</small>	相場 15 人 <small>(実績)</small>	相場 15 人 <small>(実績)</small>	13
H30	相場 17 人 <small>(実績)</small>	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 100%	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 100%	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 20 人 <small>(実績)</small>	17
H31	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 13 人 <small>(実績)</small>	相場 65.0%	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 15 人 <small>(実績)</small>	相場 75.0%	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 15 人 <small>(実績)</small>	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 20 人 <small>(実績)</small>	20
目標値 (H31)	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 13 人 <small>(実績)</small>	相場 65.0%	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 15 人 <small>(実績)</small>	相場 75.0%	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 15 人 <small>(実績)</small>	相場 20 人 <small>(実績)</small>	相場 20 人 <small>(実績)</small>	20

日整理くらし安心ひづくり検査報告書
 基本目標
 くるしややすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる
 地域での人のつながりのつくり、地図で見るまちをつくる
 ○地域の人のつながり（きずな）を育むために、半ば、半地、取り組んでいく möchtenします。
 ○場所どん様会をつなぐ、人材・資源を発掘します。
 ○生徒会のつながりの中、「囲いの内」で、「囲いの外」で、「囲いの内」を守る、生きがいを持てる仕組みをつくります。
 ○自治の方向
 ○生徒会のつながりのつながり（きずな）が、地域の力のつながり（きずな）が、連携する住民主体の活動を支援します。

施業内容
 ・災害時の地域での助けあいや防災活動の体制つくりとしての自主防災リーダーとなる防災士を育成します。
 ・自主防災組織を育成。支援するために、地域活性化活動の推進、子育て・介護・福祉などの取り組みを支授します。

施業内容
 家庭でのできるだけわかりやすい地域の人とのつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自らくらしやすい地域をつくり、そのもじで安全で安心して住み続けるまちをつくる
 課題について、住民が自ら見出し、半ば、半地、取り組んでいく möchtenします。

内部検証										外部検証						
【今後の取り組み】					【今後の取り組み状況】					⑥検証 結果	コメント					
・組織的に防災士資格を取得いただき、町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。								・公共政策が地域の公的機関によるこの活動が盛り上がりながら上がってくことを参考に、各自治会ごとに自治会での取扱いを増やすことで、防災組織もいつ各自治会を増やすことで、防災士を増やすことも啓発してください。								
③ 施業			② ・防災の推進リーダーとなる防災士として、町で新たに1名の方に資格を取得いたしました。町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士とともに、地域の自生防災組織設立について、地域の組合や組織の運営について、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・新たに自主防災組織は1地区増加し、12組織となりました。					③ ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。								
④ 施業 本項目は、地域活性化活動の推進、子育て・介護・福祉などの取り組みを支授します。										④ ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。	④ ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。					
⑤ 施業 本項目は、地域活性化活動の推進、子育て・介護・福祉などの取り組みを支授します。										⑤ ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。	⑤ ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。					
⑥ 施業 本項目は、地域活性化活動の推進、子育て・介護・福祉などの取り組みを支授します。										⑥ ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。	⑥ ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。 ・町どん防災士として登録する活動を通じて、組織化を図り組み化に取り組みます。					

施 策 案 証 検 検

基本目標	4	家庭でのきずなはもうどうよりも、地域の人とのつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自ら楽しむことで安全で安心して生み地元につながるままで、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。
基本目標	くらしやすい地域ひとつなり、安心して住み続けられるまちをつくる	○地域でのへとへとのつながり（きずな）を育むため、地域の多様なコミュニティが連携する住民主体の活動を支援します。 ○人との場所ど機会をつなく、人材・資源を育成します。 ○生民主体の出会いの豊かさにより、地域の「おたがいさま」の助け合い、自分の「自慢」を持ち寄り、生きがいを持つ住組みをつくります。
基本目標	14	施策内容 ・町営バス利用者のニーズを反映したダイヤやルートの設定、バス停の配置に取り組むとともに、交通機関間の接続の向上をバス・鉄道事業者へ働きかけます。
指標名	町営バス年間利用者数	①重要業績評価指標（KPI）
基準値	59,716人	指当部署 企画部課 自管
指標名	実績	達成率
基準値	59,800人	92.1%
指標名	公共交通の利用促進	内部検証
基準値	7	外部検証
指標名	【取り組み状況】	【今後の取り組み】
基準値	施設	⑥検証結果 コメント
指標名	動態調査の実施により利用者や運行状況の把握性向上に努めました。 ①バス車両のバリアフリー化の検討を行いました。 ②バスロケーションシスティムを導入し、利用者の利便性向上を図りました。 ③近江駅連日野駅を利用しやすいうように、近江駅周辺の整備を改修しました。 ④近江駅連日野駅を利用しやすくするために、運営状況等の把握を維持していくために、運営手による啓発をしました。	・町営路線バスを含めた公共交通が利用しやすいものとなるよう運行事業者など連携を取り組みを進めます。 ・近江駅連日野駅を利用しやすいうように、引き続き多くの方の支援を受けて整備します。 ③・近江駅周辺の仔細などにも進めます。 ・公共交通の利用促進とともに広報等によりPRします。 ④・公共交通についても広報等によりPRします。
指標名	【取り組み状況】	A
基準値	施設	⑥検証結果 コメント
指標名	『基本目標、基本的方向を踏まえて』 ・公共交通の維持や運営などを公表し、公共交通も含めた地域の移動手段として暮らしやすいとする地元にについて話題づくりに参画する機会づくりを働きかけます。	⑤『今後の課題』 ・生民自身が公共交通の提供がどう問題を認識しているかに安全・安心な暮らしどころ、公共交通がいかに運営していくかに地域で話し合っていただこうかが課題です。
基準値	施設	
指標名	『実現していること』 ・利用者のニーズに基づいて、動態調査やバス運送手帳への登録と連携し、高齢者等の課題を把握しました。 ④・車両のバリアフリー化（スマートカードによる乗車料金の精算） ・買い物に付きてバス運送手帳（スマートカード）を貰う必要があります。 ・高齢者等の移送手段を充実させています。 ⑤・公共交通がいかに運営していくかに係る話し合いなどあります。	⑥『基本目標、基本的方向を踏まえて』 ・公共交通がいかに安全・安心な暮らしどころ、公共交通がいかに運営していくかに地域で話し合っていただこうかが課題です。
基準値	施設	
指標名	H29	55,069人
基準値	H30	59,900人
指標名	H31	60,000人
基準値	H31	60,000人
指標名	55,069人	91.8%